

# 戦争の危険高める 沖縄の基地強化

## ロシアによるウクライナ侵略は ただちに中止せよ！

ロシアのウクライナ侵略は、絶対に許されない国連憲章違反の蛮行です。ロシアはただちに侵略を中止し、撤退すべきです。

一方で重大なことは、この蛮行を利用して、岸田政権や自民党、維新の会などから、非核三原則の見直しや軍拡、基地強化、憲法改悪の声が高まっていることです。

しかし軍事同盟や基地強化、核と軍事の対立をエスカレートさせることが戦争の危険を高めることを、私たちは直視する必要があります。沖縄を含む南西諸島の米軍・自衛隊基地を強化し、中国との軍事緊張を高める動きもその一つです。

軍拡や基地強化ではなく、軍縮と緊張緩和、平和な国際秩序の実現にこそ、努力すべきです。



## 辺野古新基地は 軍事要塞化計画

戦争の危険を生む米軍基地を、さらに押し付けるのが沖縄県名護市の辺野古新基地計画です。辺野古新基地は、「世界一危険」と言われる宜野湾市・普天間基地の「負担軽減」を口実にしています。しかし新基地は耐用年数100年とも言われ、普天間基地になかった新たな機能をも伴う一大軍事要塞化計画です。埋め立て予定地の海には軟弱地盤が広がり、専門家は「改良工事は不可能」と指摘しています。経費2.5兆円とも言われる基地建設はただちに中止すべきです。

## 辺野古新基地建設中止と普天間基地撤去を求める署名にご協力を！

### 安保条約を見直し、軍事によらない平和構想を



日本をアメリカの軍事戦略に組み込み、沖縄をアメリカの占領下に置き続けたサンフランシスコ講和条約・旧日米安保条約発効から今年で70年です。安保条約の下で日本はアメリカによるベトナム戦争やイラク戦争の出撃基地とされ、今やアメリカの要求のままに自衛隊増強が進められ、東アジアでの緊張を助長しています。諸外国では、話し合いによる平和実現への努力が続けられています。いま、日米安保条約を見直し、軍事によらない平和構想を展望するときです。

**日本平和委員会**

2022年3月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277